

---

# . 調查票

---



# 佐賀県民満足度調査

## ご記入上のお願い

### <ご記入方法>

調査をお願いしたご本人（封筒のあて名に書かれている方）がお答えください。  
なお、ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を確認いただき、ご家族の方がご記入ください。

あてはまる番号や欄に 印を付けてください。

印の数は、質問文中の説明（「1つだけ」、「2つまで」、「3つまで」、「いくつでも」）  
のとおりにお付けください。

その他を選ばれた場合は、（ ）内に具体的な内容をお書きください。

お答えは、黒か青の鉛筆やボールペンなどでこの調査票に直接ご記入ください。

### <調査票のご返送について>

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れていただき、2月10日（土）までにご返送ください。

**この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。**

佐賀県統括本部政策監グループ 広聴・調査担当 横山、寺島

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 本館2階

電話：0952-25-7351、FAX：0952-25-7263

E-mail：seisakukan-g@pref.saga.lg.jp

あなたが「佐賀県」についてどう思われているかおうかがいします。

問1 佐賀県に愛着を感じますか。( は1つだけ)

- 1 愛着を感じる
- 2 まあ愛着を感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり愛着を感じない
- 5 愛着を感じない

問2 今住んでいる地域(市町)にずっと住みたいと思いますか。( は1つだけ)

- 1 これからもずっと住みたい
- 2 仕事や家庭の事情で離れるかもしれないが、将来的には今住んでいる地域(市町)に住みたい
- 3 住みたくない
- 4 わからない

問3 佐賀県での暮らしを全体的にみて、現在、どのくらい満足していますか。( は1つだけ)

- 1 満足している
- 2 まあ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない

問4 佐賀県でのくらしを次の6つの分野に分けたとき、それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。（それぞれについて、は1つだけ）

	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
<p>～ について、それぞれ横に見て、 1、2、3、4、5の どれか1つを で囲んでください。</p>					
福祉・保健・医療	1	2	3	4	5
教育・文化・スポーツ	1	2	3	4	5
交通基盤（ネットワーク）・社会基盤・情報化	1	2	3	4	5
安全（消費、食、交通安全、防犯、防災）・環境（地球環境、自然環境、生活環境）	1	2	3	4	5
産業（農業、林業、水産業、商業、工業、観光）	1	2	3	4	5
雇用・労働	1	2	3	4	5

問5 佐賀県でのくらしを次の6つの分野に分けたとき、それぞれについて、県が力を入れることをどのくらい期待していますか。（それぞれについて、は1つだけ）

	期待している	やや期待している	どちらともいえない	期待しない <small>重要と期待しているも無 重要と思われない</small>		期待しない <small>重要と期待しているも無 重要と思われない</small>	
<p>～ について、それぞれ横に見て、 1、2、3、4a、4b、5a、5bの どれか1つを で囲んでください。</p>							
福祉・保健・医療	1	2	3	4a	4b	5a	5b
教育・文化・スポーツ	1	2	3	4a	4b	5a	5b
交通基盤（ネットワーク）・社会基盤・情報化	1	2	3	4a	4b	5a	5b
安全（消費、食、交通安全、防犯、防災）・環境（地球環境、自然環境、生活環境）	1	2	3	4a	4b	5a	5b
産業（農業、林業、水産業、商業、工業、観光）	1	2	3	4a	4b	5a	5b
雇用・労働	1	2	3	4a	4b	5a	5b

**福祉・保健・医療の分野についておうかがいします。**

問6 「福祉・保健・医療」の分野の中で、どのような施策に県は力を入れていくべきだと思いますか。（ は**3つまで**）

- 1 高齢者福祉対策（介護サービスなど）
- 2 障害者福祉対策（自立生活支援、就労支援など）
- 3 子育て支援（保育サービス、経済的負担の軽減など）
- 4 生活習慣病( 1)の予防・改善
- 5 感染症の予防・まん延防止
- 6 こころの健康づくり（対人関係の悩みやうつへの対応、自殺予防など）
- 7 周産期医療体制( 2)の整備
- 8 小児医療体制の整備（夜間・休日の救急を含む）
- 9 救急医療体制の整備（7の周産期医療と8の小児医療を除く）
- 10 その他〔具体的に： 〕

- 1 「生活習慣病」とは、毎日のよくない生活習慣の積み重ねによって引き起こされる病気のことをいい、がん、脳卒中、心臓病、糖尿病などがあります。
- 2 「周産期医療体制」とは、出産前後において母子の健康を守るための医療体制のことをいいます。

問7 - 1 「ユニバーサルデザイン」という言葉をごぞんじですか。（ は**1つだけ**）

- 1 考え方や意味がわかる
- 2 言葉は知っている（聞いたことはある）が、考え方や意味がわからない
- 3 言葉を知らない（聞いたことがない）

問7 - 2 ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、身体的能力、国籍など個人の特徴にかかわらず、はじめから、すべての人にとって安全・安心で、利用しやすいように、建物、製品、サービスなどをデザインすることです。

今後、ユニバーサルデザインのまちづくりのために、どのようなことから取り組んでいくべきだと思いますか。（ は**2つまで**）

- 1 使いやすい建物や施設の整備（スロープや屋根付き身障者用駐車場の整備など）
- 2 利用しやすい公共交通機関の普及（乗降口の段差がなく床面が低いバスの導入など）
- 3 安全で快適な歩道や自転車道の整備（段差の解消など）
- 4 公園など憩える空間の整備（ゆったりすわれるベンチ、多機能トイレの設置など）
- 5 使いやすい製品の開発とその普及（持ちやすい食器、すくいやすい食器など）
- 6 わかりやすい案内表示の整備（大きな文字、絵文字、外国語、ふりがな併記など）
- 7 利用しやすい情報の提供（ホームページの音声読み上げ、表示拡大、配色変換など）
- 8 利用しやすいサービスの提供（手続や相談の窓口集中化や電子化など）
- 9 県民へのユニバーサルデザインの考え方の普及
- 10 その他〔具体的に： 〕

問8 あなたがお住まいの地域の子育て家庭を支援する活動を行うとしたら、どのような活動への参加が可能ですか。(1～8のうち、**はいくつでも**)

	選択肢
参加できる	
親が病気になったときなどの緊急時における、子どもの保育所・学校等への送迎や一時預かり	1
登下校時や公園などでの子どもの見守り	2
看護師、栄養士、保育士などの専門職としての知識と経験を生かした親に対する助言	3
子育て経験者としての親に対する助言	4
子どもを対象とした、スポーツなどの野外活動や観察会などの学習活動の手伝い	5
その他〔具体的に： _____〕	6
参加できるものがない	7
参加したくない	8

問9 子育ての負担が少ない暮らし方の一つとして、「三世代同居」が考えられます。「三世代同居」についてのあなたの考えに近いものはどれですか。(1～7のうち、**は2つまで**)

	選択肢
(三世代同居にはメリットがある)	
子育てや家事の負担を分担できる	1
子育てに関するノウハウや助言を得られる	2
経済的な負担が軽くなる	3
その他〔具体的に： _____〕	4
(三世代同居にはメリットがない)	
精神的に窮屈である	5
生活時間、育児の方針などが異なり、感情的な問題が生じる	6
その他〔具体的に： _____〕	7

**教育・文化・スポーツの分野についておうかがいします。**

問10 「教育・文化・スポーツ」の分野の中で、どのような施策に県は力を入れていくべきだと思いますか。（ は3つまで）

- 1 教育内容や指導方法の改善による学力向上
- 2 少人数指導など教員配置・学習環境の充実
- 3 学校での心の教育や悩み相談などの体制充実
- 4 教職員の資質・力量の向上や意識の改革
- 5 開かれた学校など学校組織のあり方の改善
- 6 耐震化や情報化など学校施設・設備の充実
- 7 家庭や地域での子どもへの教育への支援
- 8 県民の生涯学習のための講座等の充実
- 9 県民の自主的な文化・体育活動への支援
- 10 博物館や美術館、図書館など文化施設の整備やサービス充実
- 11 運動場や体育館など体育施設の整備やサービス充実
- 12 その他〔具体的に： ]

問11 学校現場ではさまざまな取組がなされていますが、地域の身近な学校で、充実するべきだと思う取組は何ですか。（ は2つまで）

- 1 受験や就職に役に立つ知識の習得
- 2 教科の知識を覚えるだけでなく、考える力などの育成
- 3 社会のルールや規範などについての教育
- 4 他人との関わりや思いやりなどの教育
- 5 自分の生き方や将来と勉強との関わりなどの教育
- 6 その他〔具体的に： ]

問12 教員に求められる資質として、どのような力量を高めていくべきだと思いますか。( は2つまで )

- 1 国語や算数、社会といった教科についての豊富な知識
- 2 「分かる授業」ができるなど勉強を教える学習指導力
- 3 規範意識やルールなどを身につけさせる生活指導力
- 4 子どもに夢や目標を見定めさせ、意欲を持たせる進路指導力
- 5 子どもの悩みや相談を親身に受け止められる教育相談力
- 6 スポーツや芸術・文化活動などの体育・文化面の指導力
- 7 保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組む力
- 8 その他〔具体的に： 〕

問13 図書館は、多くの種類の本や視聴覚資料(ビデオ、DVD、CD等)をそろえる以外に、どのようなサービスを充実するべきだと思いますか。( は2つまで )

- 1 調べたいことが書いてある本や資料をすぐに教えてくれる
- 2 起業や経営革新など、ビジネスに関する情報の提供や相談が受けられる
- 3 病気やけが、医療機関など、医療に関する情報の提供や相談が受けられる
- 4 判例や裁判手続、裁判員制度など、法令に関する情報の提供や相談が受けられる
- 5 読み聞かせ・読み語りや子どもの本の選び方などのアドバイスが受けられる
- 6 親と子の読書活動に関する研修会やおはなし会などのイベントを開催する
- 7 あいまい検索や絞り込み検索など、本や資料を探しやすい検索システムが使える
- 8 遠方にある図書館の本や資料が近くの図書館や公民館で借りられる
- 9 学校図書館を地域に開放して、誰でも利用できるようにする
- 10 その他〔具体的に： 〕

**交通基盤(ネットワーク)・社会基盤整備・情報化の分野についておうかがいします。**

問14 「交通基盤(ネットワーク)・社会基盤整備・情報化」の分野の中で、どのような施策に県は力を入れていくべきだと思いますか。( は**3つまで**)

- 1 生活道路の整備(歩道の設置など)
- 2 各都市間を結ぶ広域交通網の整備(高規格道路・空港・港湾など)
- 3 交通安全施設の整備(信号機や道路照明灯など)
- 4 汚水処理施設の整備(下水道・浄化槽)
- 5 公園・広場・緑地の整備
- 6 災害防止施設の整備(ダム・河川・砂防・海岸)
- 7 公共交通機関の確保(鉄道・バス・船)
- 8 災害や交通規制、交通渋滞などの情報提供
- 9 ブロードバンドの環境整備・利用促進
- 10 その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問15 - 1 昨年1年間に、「有明佐賀空港」発着の航空機を利用しましたか。( は**1つだけ**)

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 1 利用した    | 問16 - 1にお進みください  |
| 2 利用しなかった | 問15 - 2にもお答えください |

問15 - 2 【問15 - 1で、「2 利用しなかった」と回答された方におうかがいしま「有明佐賀空港」を利用しなかった理由は何ですか。( は**1つだけ**)

- 1 航空機に乗る機会がなかったため
- 2 航空機の便数が少なく、利用する便の変更がしにくいいため
- 3 スケジュールに合う発着時間の航空機がなかったため
- 4 有明佐賀空港までの適当な交通手段がなかったため
- 5 有明佐賀空港までの道路が十分に整備されていないから
- 6 出発地から有明佐賀空港までが遠いため
- 7 他にもっと安い航空券があったため
- 8 他の空港利用の航空券を渡されたため
- 9 航空機と宿泊がセットになった旅行商品が他の空港利用だったため
- 10 その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問16 - 1 ご自宅にパソコンを持っていますか。  
パソコンを持っている場合、インターネットの利用の有無や接続の方法についてもお答えください。( は**1つだけ** )

1 パソコンを持っているが、インターネットには接続していない	問17に お進みください
2 パソコンを持っていて、電話回線接続(ダイヤル回線、ISDN等)によってインターネットを利用している	問16 - 2にも お答えください
3 パソコンを持っていて、高速インターネット接続(ADSL、ケーブル、光ファイバー等)によってインターネットを利用している	問17に お進みください
4 パソコンを持っていて、インターネットを利用しているが、接続方法はわからない	問17に お進みください
5 パソコンを持っていない	問17に お進みください

問16 - 2 【問16 - 1で「2 パソコンを持っていて、電話回線接続(ダイヤル回線、ISDN等)によってインターネットを利用している」と回答された方におうかがいします。】

高速インターネットに接続しない理由は何ですか。( は**いくつでも** )

1 インターネットをめったに使わないため	
2 特に接続が遅いと思わず、不便を感じないため	
3 接続は遅いと思うが、大容量のホームページを見ようとは思わないため	
4 高速インターネットは利用料金が高いため	
5 高速インターネットへの変更手続きがわずらわしいため	
6 高速インターネットの利用可能エリアではないため	
7 その他〔具体的に：	〕

**安全(消費、食、交通安全、防犯、防災)・環境(地球環境、自然環境、生活環境)の分野についておうかがいします。**

問17 「安全(消費、食、交通安全、防犯、防災)・環境(地球環境、自然環境、生活環境)」の分野の中で、どのような施策に県は力を入れていくべきだと思いますか。  
( は3つまで )

- 1 消費者保護 (悪質商法や悪質サイト、製品事故等の情報提供・相談など)
- 2 食の安全・安心 (食品衛生、残留農薬等の規制、食品表示の適正化など)
- 3 交通安全 (交通指導・取締り、交通安全教育・啓発など)
- 4 治安・防犯 (警察のパトロール、住民の自主防犯活動、犯罪情報の提供など)
- 5 防災・減災( ) (災害情報提供や避難誘導、消防団・自主防災組織の育成など)
- 6 自然環境の保護 (自然海浜や河川、湿原、希少野生動植物の保護など)
- 7 森林・緑の再生 (過密になった針葉樹の間伐、広葉樹の植栽、平坦地の緑化など)
- 8 地球温暖化の防止 (省エネルギーや新エネルギー導入によるCO<sup>2</sup>削減など)
- 9 循環型社会の形成 (3R (廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用)への取組など)
- 10 その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

「防災」とは、文字どおり災害を防ぐことをいい、「減災」とは、災害が発生したときの被害を軽減することをいいます。

問18 全国的に飲酒運転を根絶する気運が高まっていますが、いまだに飲酒運転は後を絶ちません。

飲酒運転をなくすためには、どのような対策を充実するべきだと思いますか。  
( は2つまで )

- 1 飲酒運転根絶条例を制定するなど、県を挙げて飲酒運転防止対策に取り組む
- 2 検問やパトロールなどによる飲酒運転に対する取締りを強化する
- 3 飲酒運転の危険性を体感させる飲酒運転疑似体験を組み込むなど、県や市町、警察等が開催する運転者講習会を充実させる
- 4 運転免許証の取得・更新時等における飲酒運転防止講習を充実させる
- 5 アルコールを提供する飲食店等に対し、飲酒運転防止のための自主的な取組を促す
- 6 職場や家庭における飲酒運転防止の意識を啓発する
- 7 その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問19 警察では、安全で安心な県民生活を実現するために、いろいろな方法で犯罪情報を提供しています。

今後、どのような情報提供の方法を充実するべきだと思いますか。  
( は2つまで )

- 1 学校や地域等での防犯講話や防犯訓練を通じた、警察官による具体的な情報提供
- 2 防犯ボランティア団体等を通じた情報提供
- 3 携帯メール配信(県防災・安全・安心情報配信システム「防災ネットあんあん」( ))による情報提供
- 4 県警や県のホームページによる情報提供
- 5 事件・事故の発生場所に立看板等を表示するなど、通行人(車)に目につくような方法での情報提供
- 6 報道(テレビ・ラジオ・新聞等)に防犯コーナーを設けるなど、定期的又は緊急告知的な情報提供
- 7 交番や駐在所が発行する広報紙による情報提供
- 8 その他〔具体的に： }

「防災ネット あんあん」とは、県が昨年7月に導入したもので、携帯電話等のメール機能を使って防災・防犯・緊急・火災情報を配信するシステムのことです。

**産業(農業、林業、水産業、商業、工業、観光)の分野についておうかがいします。**

問20 「産業(農業、林業、水産業、商業、工業、観光)」の分野の中で、どのような施策に県は力を入れていくべきだと思いますか。( は3つまで )

- 1 安全安心な農林水産物の生産振興
- 2 企業の誘致
- 3 中小企業の活性化
- 4 独創的な技術やノウハウを有するベンチャー企業の育成
- 5 農産物や水産物、工業製品などの県産品のブランド化
- 6 中心市街地の再生(「まち」の魅力向上、にぎわいの創出など)
- 7 観光の振興
- 8 その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問21 食と農に対して、あなた(又はご家庭で食事の世話をされている方)の意識や行動は、次のうちどれが一番近いと思いますか。( は1つだけ )

- 1 食育や農業に関する講演会などの催しに参加したり、あるいは、農業体験活動(市民農園、家庭菜園など)や農作業の手伝いを行ったりし、多少高くても地元産農産物を積極的に利用・購入している
- 2 農産物直売所やスーパーの地元産農産物コーナーなどをよく利用したり、あるいは、飲食店などで県産食材を使ったメニューを注文したりしている
- 3 食や農に対して関心はあるが、農産物直売所等をよく利用するなどの特別なことはしていない
- 4 食や農に対してあまり関心はなく、特にこれらを意識した行動もしていない
- 5 その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕
- 6 わからない

問22 車社会の進展や大型店の郊外立地などにより、まちの中心部（中心市街地）は衰退し、空洞化が進行しています。

まちの中心部(中心市街地)の再生についておうかがいします。  
あなたの考えに近いものはどれですか。(1～12のうち、は1つだけ)

		選択肢
まちの中心部(中心市街地)の再生は必要である		
理由	買い物の場がなくなり、日々の生活に不便だから	1
	コミュニティが崩壊し、犯罪の温床ともなる危険な場所になってしまうから	2
	地域固有の歴史や文化、伝統が失われてしまうから	3
	まちの中心部の衰退は、地域全体の活力の低下につながるから	4
	その他〔具体的に： 〕	5
まちの中心部(中心市街地)の再生は必要でない		
理由	まちの近郊に大型店があれば、中心部がなくても困らないから	6
	まちの衰退は世の中の流れであり、それには逆らえないから	7
	まちの中心部の再生よりも、郊外での開発を優先するべきだから	8
	まちの中心部は今でも活気があるから	9
	その他〔具体的に： 〕	10
どちらとも言えない		11
関心がないので、どちらでもよい		12

問23 大型店(大型ショッピングセンター)の郊外への出店についておうかがいします。  
あなたの考えに近いものはどれですか。(1～11のうち、は1つだけ)

		選択肢
どちらかといえば規制するべきだ		
理由	中心市街地の衰退を招く恐れがあるため	1
	景観を壊してしまうため	2
	地域に根ざした既存の大型店が閉店してしまう恐れがあるため	3
	これ以上農地が減るのを防ぎ、保全を図るため	4
	その他〔具体的に： 〕	5
どちらかといえば規制するべきでない		
理由	出店することにより、地元の商店のサービスがよくなるのが期待できるため	6
	雇用や税収の面で地域の発展に有効なため	7
	車での買い物に便利のため	8
	いろいろな店ができることで、消費者の選択肢が増えるため	9
	その他〔具体的に： 〕	10
わからない		11

**雇用・労働の分野についておうかがいします。**

問24 「雇用・労働」の分野の中で、どのような施策に県は力を入れていくべきだと思いますか。（ は**3つまで**）

- 1 新規学校卒業者の就職支援
- 2 フリーター( 1)の雇用・就業支援
- 3 ニート( 2)の自立支援
- 4 高齢者の就業対策
- 5 障害者の就業対策
- 6 母子家庭の母、子育てのために離職した方などの女性の就業対策
- 7 Uターン・Jターン・Iターン( 3)就職支援
- 8 離転職者などの職業能力の開発
- 9 育児・介護休業の導入や勤務時間の短縮など仕事と家庭の両立の支援
- 10 その他〔具体的に： 〕

1 「フリーター」とは、15歳～34歳のアルバイト・パート及びアルバイト・パートの仕事を希望する無職の人(学生・主婦を除く)のことをいいます。

2 「ニート」とは、15歳～34歳の独身・無職で、在学中でなく、仕事も探さず、職業訓練も受けていない人のことをいいます。

3 「Uターン」とは、地方で生まれ育った人が一度都会で働き、その後故郷に戻ることをいいます。

「Jターン」とは、地方で生まれ育った人が一度都会で働き、その後故郷に近い地方に移住することをいいます。

「Iターン」とは、生まれ育った故郷以外の地方に移住することで、一般的には、都会で生まれ育った人が地方に移住することをいいます。

問25 ニートと呼ばれる若者の増加が社会問題となっています。

ニートと呼ばれる若者が自立するための支援として、充実するべきだと思う取組は何ですか。（ は**2つまで**）

- 1 気軽に相談できる相談窓口やカウンセラーの設置
- 2 電話やインターネット(メール)で相談できる取組
- 3 自宅を訪問して行う相談や助言
- 4 社会に出るために必要なことを学び、自立できる訓練を行う施設の設置
- 5 自立支援を行う団体やイベント情報のPR
- 6 親や家族を対象にしたセミナーの実施
- 7 就職するために必要な各種資格を取るための公的な支援や助成
- 8 その他〔具体的に： 〕
- 9 特にない

問26 一定規模以上の民間企業は、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、労働者数の1.8%（法定雇用率）に相当する人数の障害者を雇用することが義務づけられています。

しかしながら、佐賀県では、平成18年6月1日現在、依然として4割の企業が法定雇用率を達成していません。

これらの企業が法定雇用率を達成できるようにするためには、どのような施策を充実するべきだと思いますか。（ は2つまで）

- 1 企業に対する、職場の施設・設備の改善の指導・助言
- 2 企業に対する、障害者の職務能力の把握と担当業務の選定の指導・助言
- 3 企業に対する、障害者への仕事の教え方・接し方の指導・助言
- 4 助成金や補助金などによる企業の経済的負担の軽減
- 5 障害者雇用に対する企業経営者の理解の促進
- 6 障害者に対する企業の従業員や顧客の理解の促進
- 7 企業が必要とする職務能力を身につけるための障害者の職業訓練
- 8 その他〔具体的に： ]
- 9 わからない

**県政情報の発信や公開についておうかがいします。**

問27 県政について、県ではいろいろな方法で情報を発信しています。

県政についての「 情報を得ることが多い方法」「 情報を得たいと思う方法」は何ですか。（ はそれぞれ2つまで）

	〔 、 について、それぞれ縦に見てお答えください。〕	
	情報を得ることが多い ↓	情報を得たい ↓
1 県の広報紙「県民だより」	1	1
2 テレビ（県政広報番組「県政NOW」「情報クルーズ」「おはよう県庁」など）	2	2
3 テレビ（ニュース、情報番組等）	3	3
4 ラジオ（県政広報番組「フレッシュモーニング」「県庁だより」など）	4	4
5 ラジオ（ニュース、情報番組等）	5	5
6 新聞（記事下広告）	6	6
7 新聞（報道記事、特集記事、企画記事等）	7	7
8 佐賀県庁のホームページ	8	8
9 佐賀県庁のメールマガジン（週刊メルマガ「From さが」）	9	9
10 佐賀県庁の子どもホームページ（さがキッズ情報サイト「サガーシャ」）	10	10
11 その他 { }	11	11
12 特になし	12	12

問28 県では、県政情報をテレビの番組で放送しています。

次にあげる県政広報番組を見たことがありますか。（ はそれぞれ1つだけ）

	〔 ~ について、それぞれ横に見て、1、2、3のどれか1つを で囲んでください。〕		
	1 よく見る	2 見たことはある	3 見たことがない
県政NOW（ケーブルテレビ）	1	2	3
情報クルーズさが（STS「かちかちワイド」月曜日 午後5:20～）	1	2	3
おはよう県庁（STS 月・木曜日 朝7:20～）	1	2	3
県庁だより（STS 日曜日 昼11:45～）	1	2	3

問29 最近の佐賀県の情報公開・情報提供の取組は積極的だと思いますか。  
( は1つだけ )

- 1 県が持っている情報は、原則全部公開していると思う
- 2 県が持っている情報は、積極的に公開していると思う
- 3 どちらとも言えない
- 4 まだ行政内部に隠していることがあると思う
- 5 まだ行政内部に隠していることがとても多いと思う

### 県政へのご意見の募集についておうかがいします

問30 県では、計画を策定する場合、その素案を公表して、県民の皆さまからのご意見を募集する「パブリック・コメント手続(県民意見提出手続)制度」を実施しています。

このパブリック・コメント手続という言葉をごぞんじですか、また、県にご意見を提出しようと思ったことはありますか。( は1つだけ )

- 1 パブリック・コメントという言葉が知らなかった
- 2 言葉は知っているが、どういうものかはわからない
- 3 どういうものかわかっているが、意見を出そうとまでは思わない
- 4 テーマによっては意見を出そうと思うが、いつどんな募集をしているのかわからないので出したことはない
- 5 意見を出そうと思ったこともあるが、実際に出したことはない
- 6 意見を出したことがある
- 7 その他〔具体的に： }

### 県職員の印象についておうかがいします

問31 県では、「オープン」「現場」「県民協働」を掲げ、県職員は常に県民の目線・立場で考え、行動し、県民主役の県政を実現するために行動することを目指しています。

最近の県職員について、あなたはどのように感じますか。( は1つだけ )

- 1 県民の声を聴き、県民の意見を反映するような行動をとっていて、満足している
- 2 そのようなことを感じることもあり、まあ満足している
- 3 そのようなことを感じることもあるが、あまり満足はしていない
- 4 県民の声を聴こうとせず、県民の意見を反映するような行動をとっているとはまったく感じられず、満足していない
- 5 わからない
- 6 その他〔具体的に： }

**都道府県のあり方についておうかがいします。**

問32 市町村合併が進み、より広域的な枠組みができると、次は都道府県のあり方についての議論が本格的になると思われます。

次の中から、あなたの考えに近いものをお選びください。( は**1つだけ** )

- 1 今のままがいい
- 2 都道府県合併( 1)をした方がいい
- 3 道州制( 2)にした方がいい
- 4 その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕
- 5 わからない

- 1 「都道府県合併」は、市町村合併と同じように、国、都道府県、市町村の役割分担はこれまでと同じで、都道府県の区域だけを広域化するものです。
- 2 「道州制」は、国、都道府県、市町村の役割分担を根本的に見直すもので、道州は、現在の都道府県に代わって設置される広域の地方自治体となります。

ここからは、あなたご自身やご家族のことについておうかがいします。

F 1 性別はどちらですか。( は1つだけ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 年齢は、次のどれにあてはまりますか。( は1つだけ)

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| 1 20～24歳 | 5 40～44歳 | 9 60～64歳  |
| 2 25～29歳 | 6 45～49歳 | 10 65～69歳 |
| 3 30～34歳 | 7 50～54歳 | 11 70～74歳 |
| 4 35～39歳 | 8 55～59歳 | 12 75歳以上  |

F 3 ご結婚なさっていますか。( は1つだけ)

- |      |                |                |
|------|----------------|----------------|
| 1 未婚 | 2 既婚(現在、配偶者あり) | 3 既婚(現在、配偶者なし) |
|------|----------------|----------------|

F 4 同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。  
あなたご自身を含め、あてはまる方をすべてお知らせください。( はいくつでも)  
該当する方がいらっしゃらない場合は、F 5にお進みください。

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 1 1歳未満      | 5 高校生・高等専修学校生           |
| 2 1歳～小学校入学前 | 6 短大生・大学生(大学院生含む)・専門学校生 |
| 3 小学生       | 7 15歳～34歳の未婚の社会人        |
| 4 中学生       | 8 65歳以上の方               |

F 5 お住まいの市町は、次のうちどれですか。( は1つだけ)

- |        |        |          |         |        |
|--------|--------|----------|---------|--------|
| 1 佐賀市  | 6 武雄市  | 11 川副町   | 16 上峰町  | 21 江北町 |
| 2 唐津市  | 7 鹿島市  | 12 東与賀町  | 17 みやき町 | 22 白石町 |
| 3 鳥栖市  | 8 小城市  | 13 久保田町  | 18 玄海町  | 23 太良町 |
| 4 多久市  | 9 嬉野市  | 14 吉野ヶ里町 | 19 有田町  |        |
| 5 伊万里市 | 10 神埼市 | 15 基山町   | 20 大町町  |        |

F 6 あなたの主な職業は、次のうちどれですか。( は1つだけ)

- |                               |               |
|-------------------------------|---------------|
| 1 自営業者                        | 6 学生          |
| 2 家族従事者                       | 7 専業主婦・主夫     |
| 3 会社・団体の役員                    | 8 無職          |
| 4 正規従業員・職員                    | 9 その他〔具体的に： 〕 |
| 5 非正規従業員・職員(アルバイト、パート、派遣社員など) |               |

**最後に、この調査についておうかがいします。**

Q 1 この調査は難しかったですか。( は1つだけ )

- 1 難しかった
- 2 どちらかといえば、難しかった
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、簡単だった
- 5 簡単だった

Q 2 時間はどのくらいかかりましたか。

- 1 30分以内
- 2 30分～1時間
- 3 1時間以上

県政に対するご提案やご意見がございましたら、ご自由にお書きください。


ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れていただき、2月10日(土)までにご返送ください。

---

平成 18 年度佐賀県民満足度調査報告書

平成 19 年 3 月 発行

佐賀県統括本部政策監グループ

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内 1-1-59

電話：0952-25-7351（直通）

E-mail：seisakukan-g@pref.saga.lg.jp